国会事項

衆議院

質問書提出

二月十六日議員から提出した質問主意書は次のとおりである。

野生キノコの出荷制限に関する質問主意書（小熊慎司君提出）

高度プロフェッショナル労働制（残業代ゼロ制度）の創設に関する再質問主意書（山井和則君提出）

労働者派遣法改正案の修正に関する再質問主意書（山井和則君提出）

議員表彰

二月十六日河村建夫、細田博之、高木義明、大島理森、赤松広隆、森英介、山口俊一、山本有二、古屋圭司、佐田玄一郎、石原伸晃及び中谷元は、永年在職議員として、院議をもつてその功労を表彰された。

議事日程

二月十七日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第五号

平成二十七年二月十七日（火曜日）

午後二時開議

一　国務大臣の演説に対する質疑（前会の続）

参議院

議事日程

二月十七日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第六号

平成二十七年二月十七日（火曜日）

午前十時開議

第一　国務大臣の演説に関する件（第二日）

質問主意書提出

二月十六日議員から次の質問主意書が提出された。

社会福祉法人における内部留保及び介護保険制度に関する質問主意書（櫻井充君提出）（第三〇号）

ウイグル支援に関する質問主意書（浜田和幸君提出）（第三一号）

質問主意書転送

二月十六日次の質問主意書を内閣に転送した。

北朝鮮による日本人拉致問題に関する質問主意書（有田芳生君提出）（第二二号）

ふるさと納税に関する質問主意書（江口克彦君提出）（第二三号）

自衛隊の部隊編成に関する質問主意書（有田芳生君提出）（第二四号）

いわゆる支出官レートに関する再質問主意書（中西健治君提出）（第二五号）

予算における国債費の積算金利に関する再質問主意書（中西健治君提出）（第二六号）

廃炉を円滑に進めるための会計関連制度に関する質問主意書（中西健治君提出）（第二七号）

福島県「県民健康調査」甲状腺検査で発見された甲状腺がんの治療費に関する質問主意書（中西健治君提出）（第二八号）

人事異動

財務省

（国際局次長）財務事務官　武内　良樹

国際局長事務代理を免ずる（二月十三日）

文部科学省

小此木八郎　萩生田光一

松野　博一　中川　正春

日本ユネスコ国内委員会委員に任命する（各通）

（二月十四日）

皇室事項

御祝電

天皇陛下は、クロアチア国大統領コリンダ・グラバル＝キタロビッチ国大統領就任につき、二月十五日御祝電を発せられた。

官庁報告

労働

労働保険審査官及び労働保険審査会法第５条の規定に基づく関係事業主を代表する者の候補者の推薦について

今般、香川労働局の関係事業主を代表する者九冨かほりの辞任の申し出に伴い、労働保険審査官及び労働保険審査会法（昭和31年法律第126号）第５条及び同法施行令（昭和31年政令第248号）第２条第２項の規定に基づき、補欠の関係事業主を代表する者を指名したいので、資格ある事業主団体は、下記により関係事業主を代表する者の候補者を推薦されたい。

平成27年２月18日

厚生労働大臣　塩崎　恭久

記

1　推薦資格　雇用保険の被保険者が加入している事業主団体であって、香川労働局の管轄区域内に組織を有するものであること。

2　推薦手続　推薦に当たっては、別紙様式の推薦書の正本及び副本に履歴書２部を添付して提出すること。

3　推薦締切日　平成27年３月４日

4　推薦書及び添付書類の提出場所　香川労働局職業安定部職業安定課

様式

平成　　年　　月　　日

厚生労働大臣　殿

団体名及びその代表者名

印

労働保険審査官及び労働保険審査会法第５条の規定に基づく関係事業主を代表する者の候補者として、下記の者を推薦します。

氏　名	年齢	所属団体名及び当該所属団体における地位	略歴	備　考

（注）1　所属団体名及び当該所属団体における地位の欄には、被推薦者の所属する団体及び当該所属団体における地位（２以上ある場合は、その全部を列挙する。）を記入すること。

2　略歴の欄には、被推薦者の所属し、又は所属していた団体における略歴を記入すること。

資料

平成26年12月中国際収支状況（速報）

財務省

（単位：億円、％）

項目	12月	前月	前年同月
貿易・サービス収支	−7,298	−7,431	−14,479
（対前年同月比）	（−49.6）	（−45.1）	（76.4）
貿易収支	−3,956	−6,368	−10,733
（対前年同月比）	（−63.1）	（−42.4）	（148.2）
輸出	71,005	63,221	59,539
（対前年同月比）	（19.3）	（10.8）	（16.1）
輸入	74,961	69,590	70,272
（対前年同月比）	（6.7）	（2.2）	（26.4）
サービス収支	−3,342	−1,063	−3,746
（対前年同月比）	（−10.8）	（−57.2）	（−3.5）
第一次所得収支	10,173	12,760	8,453
（対前年同月比）	（20.4）	（44.4）	（18.6）
第二次所得収支	−1,003	−998	−772
（対前年同月比）	（29.8）	（−21.7）	（−37.1）
経常収支	1,872	4,330	−6,799
（対前年同月比）	（—）	（—）	（194.7）
資本移転等収支	−112	−66	−110
直接投資	9,850	14,231	17,981
証券投資	−2,771	−30,502	13,556
金融派生商品	6,357	12,218	2,968
その他投資	−7,880	8,286	−54,235
外貨準備	−104	831	506
金融収支	5,452	5,064	−19,224
誤差脱漏	3,692	800	−12,314

（備考）①　四捨五入のため、合計に合わないことがある。

②　金融収支の符号は、＋は純資産（資産−負債）の増加、−は同減少を示す。